

すぎのこ



協賛連携型認定こども園
尚納大学附属こども園

笑顔溢れる「お弁当の日」

ぎやかな
もので
す。

昨日は「お弁当の日」でした。

お忙しい中、お弁当を準備していただき、誠にありがとうございました。



「お弁当の日」の園児は朝からとてもおしゃべりです。「早くお昼にならないかな」「ママが『何が食べたい』って言ったから『唐揚げ』って言った。」「ミカンも入っているよ。」などに、

ある研究では、大学の教育

学部に通う学生に取った調査

で、通園先で食べたお弁当の

印象では八割以上の者が「楽しい思い出」と答えています

（「嫌な思い出」はゼロ）。その

理由は「好きな物しか入って

なくてうれしかった」「お母さ

んのご飯が食べられるので嬉

しい」「初めてキャラ弁を作っ

てくれた」などの記述からお

弁当を食べられる喜びや作り

手への感謝の気持ちが表れて

いました。

こども園教育・保育

要領解説書によると、

幼児期における、人と

かわる力の基礎は、



手作りのお弁当に関する
意識調査(エバラ食品)

とが表れ
ています。
おうち
の方が作
ってくれ

「自分が保護者や周囲の人々に温かく見守られているという安定感から生まれる人に対する信頼感をもつこと、さらに、その信頼感に支えられて自分自身の生活を確立していくことによつて培われる。」と述べられています。

お弁当は、親子間のコミュニケーションを活発にし、思いやりのある良好な関係を構築することから、親との信頼関係を深め、人間関係を築く力の育成にも寄与するものと考えられます。

エバラ食品が実施した「手作りのお弁当に関する意識調査」でもそのこ

るお弁当は、園児の園での生活を生き生きさせるだけでなく、感謝の気持ちを持つたり人に大切にされた思いを持つたりすることにつながり「世の中は気づかれないあふれ、もっと優しくもっと豊かになる」

（エバラ食品HP）ことでしょう。
本園では年に一二回ほど「お弁当の日」を設けています。準備は大変で面倒だと思えます。保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

ブドウやミニトマトは、四分の一カットで

今年2月福岡県で小学校1年生の男子が給食のうずらの卵を食べて窒息して亡くなるという痛ましい事故が起きました。

園児にとって、丸くてつるつるしている食べ物には特に危険が伴います。

本園では給食において、うずらの卵はもちろん、球状のものは園児に提供していません。

また本園の畑で採れた野菜や果物においては、ミニトマトやブドウなど球状のものは、小児科学会や子ども家庭庁などのガイドラインなどにのっとり、必ず保育者が四分の一にカットして提供するようになっています。

お弁当をお持たせいただく場合においても、ブドウやミニトマトなどは必ず四分の一にカットしていただきますようご協力をお願いいたします。

食品による窒息に注意!
～身近な食卓に潜む意外な危険～

**丸くてツルツとしていて食品が
こどもの窒息につながるワケ**

ワケ1	ワケ2	ワケ3
食品の特徴 すべりやすい	こどもの能力 かみきれない のみこめない 咳で押しだせない	こどもの習性 食べながらの 「おしゃべり」や 「遊び」

**ひと手間を加えることで
こどものいのちを守れます!**

危険 4歳以下のこどもには、ミニトマトやブドウなどは「1/4カット」

安全・安心

詳しい情報はホームページにアクセス! 小児科学会 食品窒息

日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会

日本小児科学会 HP より